

長良川温泉 53→28位にアップ

大手旅行社の投票で全国の温泉地をランク付けする昨年の「にっぽんの温泉100選」で、岐阜市の長良川温泉が二十八位に入った。

前年の五十三位から大幅にランクアップ。宿泊者が気軽に観光できるようレンタサイクル事業を始めるなどの工夫が評価されたとみられる。

全国約三千の温泉地から「泉質」や「雰囲気」などを指標に、JTBグループなど大手旅行社が投票。その結果を全国の八つの観光団体が審査し、順位を決める。業界紙「観光経済新聞社」主催で、「旅のプロ」が選ぶランキングとして信



大幅なランクアップを喜ぶ長良川温泉女将会の伊藤会長(左)と山岡典子副会長=岐阜市湊町の十八楼で

昨年の にっぽんの温泉100選

頼度が高いという。長良川温泉の旅館やホテルでつくる「岐阜長良川温泉旅館協同組合」は昨年、長良川沿いや金華山周辺の街並みをレンタサイクルで回る事業「チャリタビ！」を始めた。新型コロナウイルスの感染予防で統一基準「長良川スタンダード」を普及させたりと、独自の取り組みを重ねてきた。

ランクアップの理由は非公開放だが、組合に加盟する旅館「十八楼」のおかみで、「長良川温泉女将会」の伊藤知子会長は「旅行のプロから評価されたことは誇り。さらに魅力ある温泉地を目指す」と抱負を語った。(池内琢)